

Save The Tropical Forests



森の通信

2011.6.28



▲ 往復8時間のジャングルトレッキングの末にたどりついた原生林 (石崎雄一郎)

CONTENTS

- people(21) バルビタン弁護士 3P
- 2011 国際森林年に 4P
- インドネシア中カリマンタン タンジュンアティン公園 からの報告 6P
- 希望の村の苗づくりをボルネオ全土に伝えたい 8P
- 世界の森林ニュース 11P
- 新聞ニュース 12P

2011.6.28

「CO2 温暖化をかくれみのにする原発に NO!!」 永田健一

・この国はどこへ行くんだろう? 私たちはどう生きていくのか?

原発事故をうけて今こんなことを私たちは向われているのでしょうか。

ありあまる現代の便利さの裏に膨大なエネルギー消費があります。

安全、グリーンなエネルギーとしての原発を起こした放射能被害が

「どうするんや!?!」と 言っているような気がする。

今こそ 私たち 1人 1人 が 日本 の とるべき道 を 決める 時だ と思 います。

* 井下さんより ウータン紙面で紹介したいと言われましたので 手前勝手に申し訳ないですが…… (永)

「ウータン」編集長の永田健一さんが、『関西の手仕事』

(^{エド}京阪神マガジン社) に登場! (14Pに)

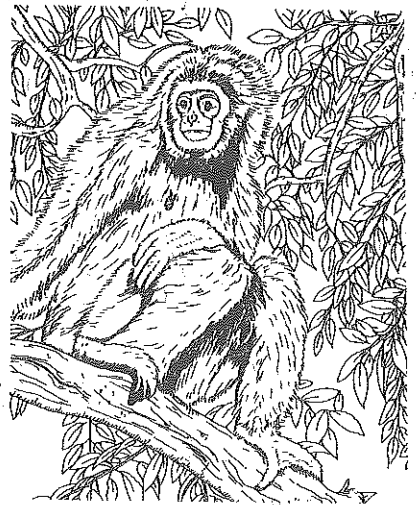
2010.4.1 ¥880.

「熱帯材を使わない、長く使い続けられる家具」にこだわって作り続けてきた。

熱帯材合板の安売り家具に較べれば値は張るが、注文制作の家具は、使い込むほどに愛着がわく。

仕事を通じて (木を大切に使いながら) 森を守るのは、声高にエコを語るよりずっとカッコいい、と思う。

☆☆ 永田さんイラストのTシャツ、好評につき、重版発売中です。
(お問い合わせはウータンまで) ^{このイラスト} であ。



【ウータン活動報告】

2011・3・6 「生物多様性保全へ」大阪集会 参加*春日、笠原、米澤、西岡他

3・22 ウータン会議、今後のインドネシアのタンジュン・プティン公園の状況等や植林冊子計画で

4・5 通信「ウータン100号」発刊

4・12 ウータン会議、石崎がタンジュン・プティンとボゴールで冊子作成打合せのため

4・28-5・9 石崎、タンジュン・プティン国立公園、ラマンドウ保護区、ボゴールで植林冊子作成等の会議

5・22 【生物多様性の日】パレード参加など *春日、笠原等

People (21) Save! the World's Forests

マレーシア・サラワク州の弾圧を受け、森林破壊された先住民をサポートするBB

—Baru Bian (バル・ビアン) 弁護士



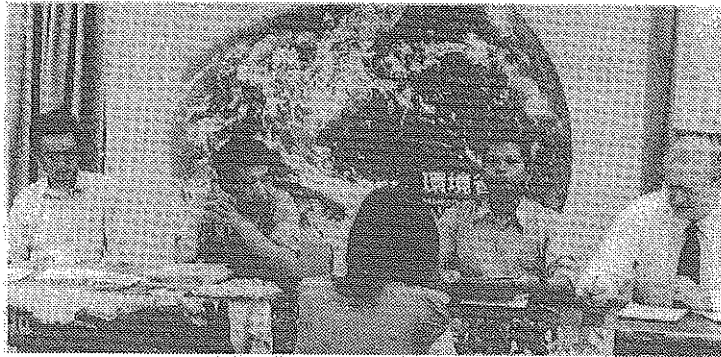
2010年・クチン市のBB法律事務所 (写真・文*Nishioka)

1991年に JATAN (熱帯林行動ネットワーク) が、サラワク州の先住民の森林伐採の窮状を知らせるために日本へ招聘。東京・大阪などで講演。横浜の IITO (国際熱帯木材機関) 理事会にも参加したが、日本の木材企業にも原生林破壊を止めるように申し入れもした。再度の講演会招聘について同氏は、「サラワク帰国後に、州政府が来日理由を尋ねて、警察も尾行だよ。西岡さん、今度はそうならないか?」「今度は講演会のみ」と告げたら、招聘の2003年に、忙しい法廷の合間をぬい5日間に3ヶ所で講演。「皆さん、企業が切り出す森の材は大半が原生林で、殆んど先住民が慣習的に使用していた森です。先住民たちは知らないうちにその森を取り上げられ、企業が切り出す。この黒い木材を使用しないで。またインドネシアからの違法材をサラワク企業が売っている。違法伐採した木材を使用しないで下さい」とPR。マレーシア・サラワク州の改善に努める同氏。

67年より首相に居続け木材ロンドン疑念のタイプ州首相は「70%原生林残る」との放言に対し、「辞任を!」と多くの先住民が言う。「バル・ビアン氏がなれば、」との声も多いが、同州は今も秘密警察が跋扈。2010年夏、バル・ビアン氏は「私は先住民と共に闘う」と。先住民レンノバン族として生まれたからの声だ。

—2011 国際森林年に・・・【違法材停止】から【原生種での再植林】へ

西岡良夫



(2007年違法材取引停止宣言*Telapak ヤヤット氏ほか/右・2010年村上さんらタンジュン・プティン公園で植林)

今年は国際森林年。ウータンの活動も違法伐採の地で再植林への実施を本格化する。

違法伐採がされていたインドネシアの国立公園や森林保護区に、ウリン、ニャトウ、ジュルトンなどの原生種の植林の支援を3年前より始めたから。5年前から少しだけ中カリマンタンのタンジュン・プティン国立公園で植林をしていたが、。2009年に同公園内に野火が飛来し火災になり、同公園ではフレンズ・オブ・ナショナル・パークス・ファンデーション(Friends of National Parks Foundation/FNPF)のバスキ氏らが1ヶ月に亘り消火活動する。鎮火して、2010年火災地にウータンとして1ha分を植林する。今までなかった事だ。

今までの10号前の通信『ウータン』なら、違法伐採・違法貿易に取り組んできたニュースがメインだった。

2005年からインドネシア政府はインドネシアNGOsの調査・告発・申入れで変わりだし、インドネシア政府はForest Watch 事務局長 Togu Manurung 氏を林業大臣相談役に招いた。そして2006年から本格的な違法伐採の取締りへと進行した。インドネシアの地方でも違法伐採が問題視され、西パプア、スマトラ島を除いて違法貿易は激減した。10年間、活動して大きく区切りがついた。

多くの世界のNGOsの働きで、マレーシア、ミャンマー等の政府を除き、各国政府が動き、違法貿易の流れも変わり、世界は合法材使用へと進んだ。私たちは違法伐採・密輸材停止の活動に貢献できたと思う。

だが著しく違法伐採された地は、ラマンドウ(Lamandau)森林保護区のように裸地化している。タンジュン・プティン公園では以前伐採に従じた人たちが今度は再植林を始め、【オランウータンが住める森作り】を開始。私たちウータンは3年前から支援を決めた。まさか違法伐採の従事者が植林を進んで実行するとは思わなかった。インドネシアは大きく変わった。生活を見直す地区も出てきたのだ。

FNPFのバスキ氏らは、2010年から今度は裸地のラマンドウでも再植林を始めた。木材マフィアが住んでいる同地にNGOが植林を広げる。私たちはFNPFのラマンドウの再植林にも、今年からサポートをしていく。あの飛行機会社ボーイング社もFNPFの再植林の支援を昨年からは始めている。再植林については石崎君(Issy)たちが中心に実施を始め、インドネシアNGOsと協力して原生種で【希望の苗作り計画】へと。インドネシア語の冊子作成も予定だ。多くのインドネシアNGOsが協力をしてくれてきている。

ただボルネオ島でも東カリマンタン、西カリマンタンの一部の地方では違法伐採はまだ停止していない。引き続き、調査・停止依頼が必要なのだ。

第3回生物多様性「生き物スキスキ、ごった煮パレード」と震災・原発被災を思う 春日直樹

昨日から午前にかけての大荒れの空模様で、当日(5月22日)の開催が危ぶまれた。昼から雨が上がり、第3回生物多様性保護・御堂筋パレードは支障なく実施できた。大阪の本町・新町北公園に実行委員が集まり、打合せを済ませ、15時から集会が始まった。代表挨拶の後、各団体が参加アピールを行った。

16時からパレードがスタート。同公園から御堂筋を南下し、高島屋前から元町中公園(浪速区)までがコースです。17時に目的地に到着。その後全体で写真を撮り、次のイベント案内や情報交換を行い散会した。主催は「生物多様性パレード On 御堂筋実行委員会」です。

「生き物スキスキ、ごった煮パレード」の参加者は、思い思いの衣装で御堂筋をパレードしました。

原発事故の怖さを防護服で表現したり、トリやクマや白クマやウサギのお面や縫いぐるみで、多様な生き物を表現したり、沖縄の民族衣装を纏い、葛を体に巻きつけて森人に変身したり、生物多様性のメッセージを伝えるための旗やのぼり、プラカードを持ち、太鼓を叩き楽器を鳴らし、賑やかに御堂筋を歩きました。カップやジュゴン姿の人も参加しました。私はネパールの帽子(トピー)を被り、ネパールの民族服で参加です。昨年のCBD名古屋会議にむけたパレードに続き、参加者は楽しい笑顔の行進となりました。

「5月22日は何の日ですか〜、国連が決めた生物多様性の日デ〜ス」、「一日100種以上の生き物が絶滅しています。生き物が危機的な状況であることを知ってください〜イ」、「地球上の生き物が人間を含めて、未来もズ〜ッと幸せに生きていくために、今私達が出来ることを、みんなで考えよう〜」というメッセージを発信しました。沿道の人達に生物多様性を意識してもらうため、「クイズ DE 生物多様性」というチラシを配布。沿道から見ている人や休日の買い物客などは不思議な表情でパフォーマンスを見ていました。

3月11日の巨大地震と津波による東日本震災と福島第一原発事故で、多くの被災された人々は今も避難生活が続いている。福島第一原発の原子炉で水素爆発が起きた。その後もメルトダウンを起こした。原発周辺地域に多量の放射線物質が放出され、さらに拡散している。大気中放射線量の測定では、5キロ圏内と北西方向の多くで依然、毎時20マイクロシーベルト以上の高い線量を示している。山形大理学部でも、一キロあたり50万ベクレルの放射性セシウム134が検出された。高濃度の放射性汚染水を海に流出させた。浄化装置の試運転を始めるが、効果は未知数だ。放射性汚染水が外洋にまで広がっている。海の多くの生き物達の体内に放射性物質が濃縮される、私達自身が内部被曝した魚を食べることになる。このように生き物の生存基盤である空気、大地、水(海水)を汚染した。事故の解決策を模索しているが、しかし事態の深刻さが増すばかりである。生物多様性にとってシビア・アクシデント(過酷事態)が今も続いている。生物多様性に与える影響が長期間続く。一刻も早く事態の収束を図らねばならない。

日本は、現在70億人の住む地球上に大量の放射能を放出した。グローバル化や国際化が進む今日、日本の実情が世界に伝わっているだろう。今回の地震とその後の過酷な原発事故を経験した日本は多くの教訓を学んだ。絶対安全であるはずの原発神話が崩れた。そのとき対応の難しさ、危機管理の困難さ、世代を超えて注視する必要がある被曝者の健康面、補償のあり方など諸々の課題が見えてきた。生物多様性に大きな汚点を残す原発の事故が二度とおこらないように、脱原発の方向に舵取りが必要である。未来の生き物総ての子孫達のために、今重大な転換点である。

私達の生活が問われている。物質に囲まれた生活から生まれる大量の廃棄物は何か。子ども達に伝えるべき自然資源を浪費した結果である。地球上の限りある資源を使い切るとどうなるのか。未来の総ての生き物に伝える「限りある資源」、其れは祖先から預かった大切な宝物である事を肝に銘じて置くべきだ。

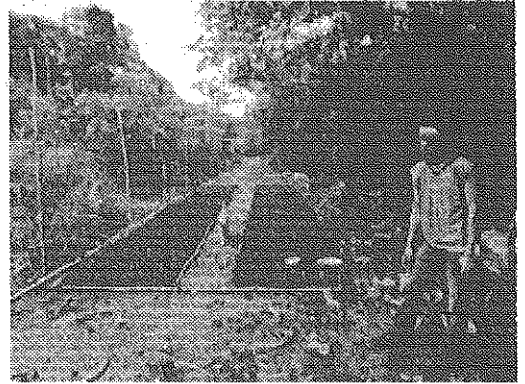
総ての生き物の住むことのできる地球の「大地、水、空気」は宝物である。伝えるべき宝である自然を壊さないでと声を上げよう。生き物と共生していくために。

(5月24日)

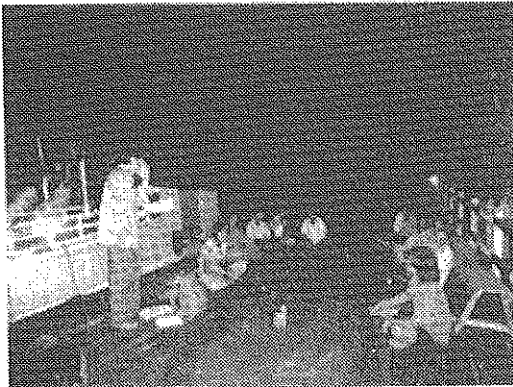
インドネシア中カリマンタン タンジュンプティン国立公園からの報告④

苗作りグループ「セコニャールスタリー」とタンジュンハラパン村での話し合い

タンジュンハラパン村で2年前に始まった植林用の苗作りグループ「セコニャールスタリー」のメンバー20人ほどが一同に集まり、僕の話をもじと聞いている。今回ばかりはマホもミエもないので、僕がしゃべらなくてはならない。つたない英語で必死にしゃべり、バスキが通訳してくれる。後から、彼らに対して、ゆっくりと英語で伝えようとしてくれてありがとうと言われたが、ただそのスピードでしかしゃべれなかつただけである。



あまりご存知ないウータン読者のみなさまにも再度お伝えする意味で、「原生の種による植林用の冊子作り」の内容をくり返しておきます。



「みなさま、今日はお集まりいただきありがとうございます。日本のウータンという NGO から来た ISSY です。今日はみなさんにお願ひがあります。タンジュンプティン国立公園とそのまわりにはすばらしい自然があります。オランウータンをはじめ、たくさんの動物が棲んでいて、鳥や昆虫もたくさんいます。美しい自然を眺めにたくさんのツーリストも訪れます。」

「しかし、今、ボルネオの自然はどんどん減っています。パームオイルや砂金採取などで森が削られています。私たちウータングループは、現在、あなたがたの取りくんでいる植林用の苗作りの活動をととてもいいことだと思っています。苗を売ることでああなたがたは収入を得て、村の発展と平和に役立てることが出来ます。貧しくて、違法伐採やプランテーションで働くこともなくなります。同時にその苗は森を再生するための植林に使われます。しかも、あなた方の作る苗は、森に落ちている種から作るので、その苗による植林は、(アカシアなどの外来種ではなく)、その土地にもともとあった原生の種であるから、生態系にととてもとてもいいのです。私はこの取り組みを他の村にも伝え、すべてのボルネオで行いたい。そのための植林用の冊子を作りたいと思っています。FNPFのバスキが、これを手伝ってくれるといっています。この冊子によって、セコニャールスタリーのみなさんが森を守っている活動をいろいろな人に伝えたい。この冊子作りにぜひ協力していただきたい。みなさん、手伝ってくれますか？」

この提案は満場一致で賛成された。「とてもいいことだ。ぜひ手伝いたい」と。



こんな質問が来た。

「日本には同じように身近に美しい森があるのか？」

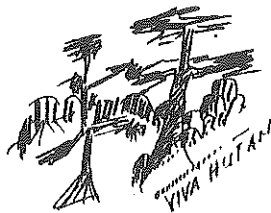
僕の職場がある京都でも電車で少しいけば森にいける、と言ったあとにこう付け加えた。批判の声もあるかもしれないが、あえて書いておきます。

「日本にもたくさん森があります。日本の国土の約70%は森林です。しかし、そのほとんどはもともとあった木ではありません。日本の森林の多くはスギやヒノキですが、これはもともと生えていたものではなく、ほとんどが人工的に植えられたものです。もともとはコナラやブナといった広葉樹が生えていたのです。太平洋戦争のあと、日本の政府は、林業を活性化させ、たくさんの家を建てるために、すぐに生え、木材にしやすいスギやヒノキをたくさん植えました。それがお金になり、発展に必要だと思ったからです。しかし、高度経済成長とともに、ボルネオなど外国からどんどん安い木を輸入するようになった。それとともに日本の林業は衰退し、森林を手入れすることをしなくなりました。いま、日本の森林はどんどん荒廃し、ぼろぼろになっています。その一方でボルネオを始め、世界の森林を乱伐しているのです。僕は、ボルネオで同じようなことになってほしくありません。みなさんのような 原生種の植林を通して、森を守ってほしいと思います。」

村人は、実に熱心に僕の言葉に耳を傾けてくれた。ある村人は握手と共にこう言ってくれた「ありがとう。私たちは この土地の自然を守っていくよ」

(ISSY)

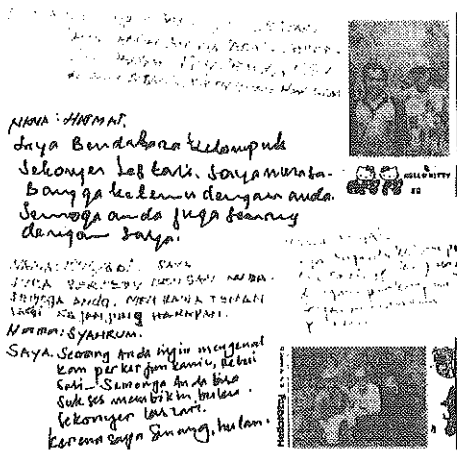
FNPF just small thing in this place, but now we are very happy coz we have many friends. Thanks for: Issy, Mabo, Mic, Melinda, and all Hutan Munkers. FNPF and all Villagers Love you so much. Together We will make this world be better.



Basuki



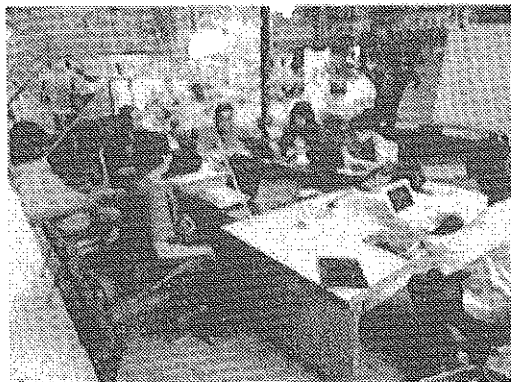
FNPF のバスキさんからのメッセージ



セコニヤールスターリーのメンバーからのメッセージ

希望の村の苗作りをボルネオ全土に伝えたい

1. カリマンタンのすべてのローカル NGO をつなげよう！



ラマンドーの山小屋で FNPF のバスキと植林用冊子の話をした。実際に冊子を作るにあたり、他の NGO にも参加してもらい、協力体制を作りたいとウータンでは考えている。バスキも同様の意見で、たくさんの NGO、特にローカル NGO に声をかけるべきだという。バスキがいうには、インドネシアにはたくさんのローカル NGO があり、それぞれが独自にプログラムを持って活動している。それらのプログラムには似たようなところがあるので、もしこれらのプログラム

を紹介しあったり、意見交換ができれば非常に有意義だろうと。これは、ウータンとしても同じ意見で、西岡事務局長もたくさんの NGO がまきこめれば面白いと言っていた。

バスキがあげてくれたカリマンタンの NGO だけでざっと7つ。

WALHI (地球の友・インドネシア)

Bebisic (調査専門、東カリマンタン)

Diantama (コミュニティディベロップメント)

Pancurkasih (コミュニティディベロップメント、西カリマンタンで一番古い)

Riak bumi (西カリマンタンのダヌスタル国立公園)

Nurani Perempuan (地域開発、ジェンダー)

Yayorin (環境教育、中央カリマンタン)

それらすべてにすばらしいメンバーがいる！ と。

やはり、面白いのはローカルの NGO らしい。つねに草の根活動である。彼らは現地の村とともにある。とにかくフットワークが軽い。バスキの奥さんはかつて NGO と働くことも多く、ユニセフのブックレット作りにも協力していた。WALHI のメンバーとも知り合いだという。バスキはボゴールでのミッションがすべて終わったあと、これらの NGO にコンタクトを取り、ウータンに連絡を取るようにつたえてくれると約束してくれた。

もし、ボルネオ島インドネシア側のすべてのローカル NGO がウータンのこの計画によってつながり、アイデアを交換しあい、さらなる発展をしていけばこれはすばらしいことだ。ローカル NGO はそれぞれが、バスキのような面白い人間の集まりだという。少ない資金で精一杯の活動をしている彼らには、なかなか集まる機会がないが、ここをつなげられるのが日本のウータンのような NGO に求められるかもしれない。

(ISSY)

2. NGO との話し合い in ボゴール、ジャカルタ

A. Telapak (テラパック)

一番右: HAPSOLO さん

この植林用冊子を渡しただけでは、村人の反応は「OK、たくさん NGO が来てお金を渡してくれるのかい？」としかならないだろう。冊子だけではなく、何度もそれを使って活動を促進し、広めていかなければならない。かつて、さまざまな NGO がステッカーや T シャツなどを作ったが、すべて「いい話だね。」で終わってしまっている。人々を変えるにはいたっていない。



FNPF が成功しているのは、いつも現地の人とのそばにいらる。ジャカルタにいて同じことはできない。昔、Telapak の戦略は、学生や街の若者を村に連れて行くことだった。今は、村人に Telapak としての仕事をしてもらっている。活動を成功させるには現地の人に参加してもらえない。



ALEX さん(イラストレーション担当)

漫画ではなく、ポスターに説明書きがしているようなものがおすすめだ。漫画では、1ストーリーにメッセージは3、4つだが、ポスターの形なら、1つのページに1つのメッセージが載せられる。たとえば、植林や苗作りのイメージをイラストで大きく描き、その横に大きなタイトル、その下に人々がどんな活動をしているのかを説明する。このプランに非常に興味がある。ぜひカリ

マンタン現地へ行って、生の情報を集めたい。タンジュンハラパンの村の人々にインタビューがしたいな。冊子には、村の人々のディテールを描いてあげるといい。農業でも、カヌーでも、「これは俺の家だ！」「お前がここに載ってるぞ！」それは彼らが冊子作りに参加していることを自覚できるとともに、大きな自信につながる。

作るだけでなくどう使うかが重要で、現地の人々の参加なく成功はないだろうという言葉が、心に残った。



B. BOSF (ボルネオ・オランウータン・サバイバル・ファンデーション)

左: Togu さん(CEO) ととてもいいことだ。問題は場所によって、苗の種類や植林方法も違うこと。もっと集中させるべきだ。たとえば、まずはタンジュンハラパン村の成功例を紹介して、それを広げていく。現地の人々には知恵があり、植林などのやり方を知っている。重要なのは、これが収入につながることや、どうやって売るのがかを伝えること。配るなら、現地の村人で若いインフォーマルリーダーがいいだろう。誰にあげるかはよく考えることだ。

右: Emilia さん(広報担当) 本当に人々が読むかが大事。20ページでは多すぎる。人々が退屈しないためには、8ページくらいがベスト。言葉は少なくして、イラストを入れる。村の紹介くらいでいいのではないかしら。私からのアドバイスは、ターゲットをしぼりなさい、ということ。たくさん書きすぎてはだめ。原生種はいくつもある。タンジュンティンで一番人気なのはどれ？



C. Wetland International Indonesia

(ウェットランド・インターナショナル・インドネシア)

一番右: Nyoman さん (事務局長)

問題点がいくつかある。

第1に、ターゲットは誰か？子ども？村人？年齢は？

第2に、言語はどうするか？ Malay, Kutai, Banjar 語・・・

インドネシア語だと読める人にしか伝わらない。

第3に、どういうキャラクターか？ ダヤック族なら、そのようなキャラクターにしなければならない。

第4に、テラパックが言ったように東カリマンタンの村は非常に街から遠い。彼らが、植林と苗作りと売ることに関心を持って、売りにいくことができなければ意味がない。

第5に、冊子をどうやって使うか？ 内容がよくても彼らに使うことができるだろうか？

第6に、ターゲットを絞るべきだ。すべてをターゲットにするならいくら冊子があっても足りない。

第7に、ボルネオ島はほとんどの土地 (約5億ヘクタール) がピーランドだ。土地の特性を見極めてその土地にあったものを作らなければ効果がない。

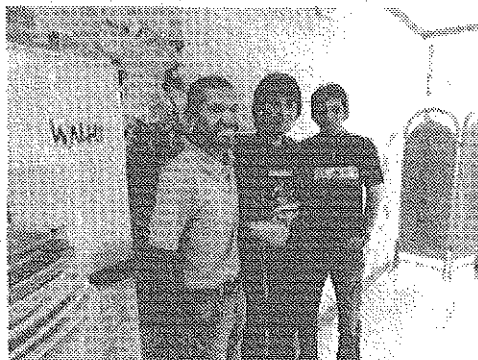
Nyoman さんは、博識で、現場も良く知る偉大な人物だが、いつもフレンドリーなパパのような存在。

D. Walhi (Friend of the Earth Indonesia)

(ワルヒ 地球の友・インドネシア)

左: Berry さん (事務局長、たびたび来日)

右: Deddy さん (森林担当) どちらもカリマンタン出身



いいアイデアだと思う。バスキの森林、コミュニティーでの体験を語る。インドネシアには伝統的な知恵や特性もある。冊子を通じ、人々をつなぎ、モチベーションをあげることが大事。コミュニティーに根付いたマネジメントをすべきだ。大事なことは、まずターゲットを決める。子どもなのか中級階級なのか、もっと上なのか。どれだけ影響を与えられるかから判断しなさい。

たとえば、現地の人々(ローカルピープル)をターゲットにする。ローカルピープルは地方政府(ローカルガバメント)の考えを変えることができる。少しずつだが、バスキたちの活動で、どうコミュニティーが変わっていったかをたくさんのローカルコミュニティーに伝える。それが自動的にローカルガバメントを変えるインパクトになる。たくさんのコミュニティー、村が、森林再生や原生の種の植林をすれば、かならず影響を与える。

Walhi は、メンバーをはじめ、たくさんのローカル NGO にもこの冊子を紹介できる。たとえば、地域コミュニティーでの森林保全をしている SHK など。いろんなところに配ってあげよう。理想的なことは、各コミュニティーが持つ情報や体験や知識をブックレットを通して、交換することだ。

Berry さんは自然に対する知識が豊富。ローカルピープルを変えていくことがローカルガバメントを変えることや、地域・村同士をつなぐことがパワフルな結果をだすだろう、と力強い言葉を聞いた。

(ISSY)

【ブラジル・アマゾン、伐採・破壊が進む】

2010年アマゾン流域の記録的干ばつで約260万km²の緑色部分の熱帯雨林が茶色になったことが、NASA衛星データの研究で明らかになる。主執筆者ボストン大の気候・植生研究グループLiang Xu氏は「2010年10月に干ばつが終わった後も通常レベルに回復しなかった」と。減少を示す詳細な地図を作成。1996年に1992年時と比し森林伐採が34%増加と報告され、2000年から2005年の年間(毎年19,018km²)は、その5年間(毎年19,018km²)と比較し18%以上伐採量が増加。ブラジルのINPE(National Institute of Space Research)が主調査。INPEによると元々ブラジル・アマゾンの熱帯林は4,100,000km²だったが2005年に3,403,000km²まで減少し、17.1%が失われた。(資料*米国ボストンENS(Environment News Service 3/31))

【インドネシアとEU、EU市場で違法材排除協定】

4月15日、EUはインドネシアと欧州市場に入る違法伐採木を排除・維持することを目的の協定に調印。最初の自主的パートナーシップ協定(VPA)は、EUとアジアにより署名された違法伐採貿易の世界との戦いに大きな一歩だと。(Jakartaポスト)

【震災・津波で13万人被災、国産合板工場打撃】

東日本大地震の津波等で死者等が2万人になり、太平洋沿岸の木材・製紙関連工場が連並み壊滅的な打撃を蒙る。岩手・宮城両県の立地の合板工場群は全国の国産材合板生産量の「21~22%を占める」(林野庁木材産業課)だけに、当面の供給不足に加え、今後の復興需要に応える面でも大きな痛手と。仮設住宅6万3千戸見込むも用地難や、塩まみれの廃材処理に手間取る。福島第1原発のメルトダウン等で大量の放射能が出て、チェルノブイリ級原発被災が続き、韓国、中国、果てはUS、EUへ放射能が拡散。3・14付Borneo Post等でサラワク木材企業群は「震災は絶好の儲け」と。(3/12-5/20 木材新聞、朝日新聞、週刊現代等)

【英国B&Q社、FSC共同設立者に】

B&QはFSC(森林管理協議会)共同設立者となり、2月10日、英国の大手小売業者で初の供給源の信頼できる木材製品を購入する目標を達成と発表。2010年、B&Qの木材製品内で供給源が判明のものは90%を越え、2月に同国最大ホームセンターとして商品の木材が100%管理された資源に由来することを保証と。英国大手小売業者が目標を達成し他業者に圧力かかる。(フェアウッドNews)

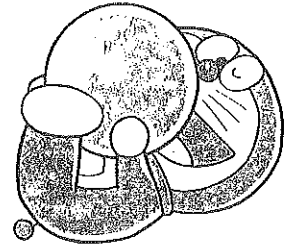
【Mクド、KFC、環境悪化削減に調達方針着手】

マクドナルドは、ファストフードによる世界の森林を含む環境へ大規模な影響を効果的に削減の長期的調達方針を発表。同社は自社の持続可能な土地経営公約(SLMC)を初公開、方針は、「同社が使用の食品及び包装は、持続可能な経営がなされた土地で生産された農産物原料であること」を要求。公約は独立の評価でモニタリングされると(3/14・Mongabay.com)。また、KFC(ケンタッキー・フライド・チキン)は揚げ物に使用のパーム油の停止と報告。KFCは、「健康及び気候へ配慮のための改革」と。パーム油は飽和脂肪が高く、またインドネシア、マレーシアの泥炭湿地や熱帯林の破壊と関連してきた。4月初、KFCは「イギリスおよびアイルランドの800ヶ所の店舗で高オレイン菜種油を使用」予定と。(インデペンデント誌)

【中国、増え続ける木材需要】

税関の統計で、2010年の中国の原木輸入量は、3434万7千m³で前年比22.4%増加、額は60億7千万米ドルで48.6%増。原木輸入の主な特徴は、1)輸入量が急速に増え、平均価格も急増、2)一般貿易の輸入量が6割を超え、辺境の少額貿易が小幅減、3)私営企業が輸入を主導し、外資投資企業の輸入量が倍増、4)ロシアから輸入減少し、米国から輸入は激増、5)内モンゴル区、黒竜江省、江蘇省、上海市の4省市で全総量の65%と。(3月*日China Post,木材新聞、フェアウッドNews)

今できること



ヒノキやブナの新緑がまぶしい山梨県道志村の森。5月中旬、小学生の親子18組41人を対象に「森林教室」が開かれた。

「森はどんな風の人々に役に立っているかな」

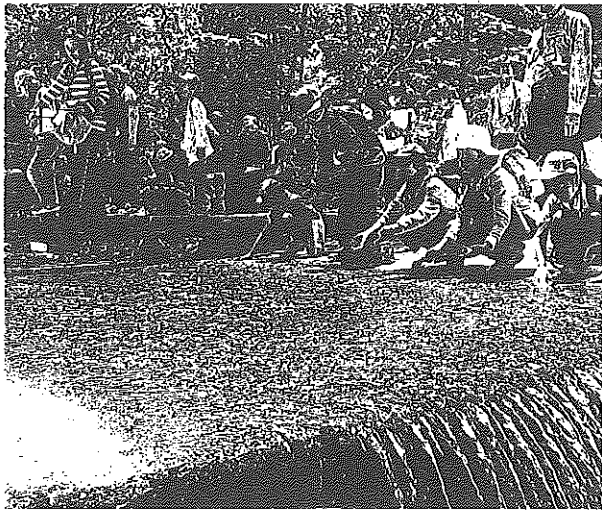
講師の早稲田大人間科学 学院院教授、森川靖さん(森林生態学)が話しかけた。村の面積の3分の1、約2900畝を所有しているのは県境を越えた向こう側の横浜市だ。ここを源流とする道志川の水は110年以上も横浜市民の貴重な飲み水となってきた。

「地中に広がる木の根が土を軟らかくし、水がたまりやすくなるんだ」と、説明する森川さんに、子どもたちはうなずいた。

水源林を守るためには植林や間伐の手入れが欠かせない。森林教室は、市に協

森林を守る

おいしい水は健康な森から



水源林からわき出てきた水の冷たさに驚く小学生たち。山梨県道志村

力して水源林の保護活動をするタイヤメーカーのブリヂストンが開いた。親子たちは、日陰が多く木もあまり太くない未間伐の森を見たり、せせらぎの水を手でくんで冷たさを感じたり、2時間近くハイキングを楽しんだ。

「山を歩きながら、科学してみよう」

森川さんの指導で、子どもたちは木の太さを測った。太さから断面積を計算し、さらに重さの中に含まれる炭素(二酸化炭素)の量を割り出す。「森林は地

球温暖化につながる二酸化炭素をためこんでくれる、いわば『倉庫』なんです」
間伐した木を使うことで森林が成長し、地球環境をよくすることを覚えてもらおうと、最後に子どもたちは間伐材で鉛筆を作った。さいたま市から兄妹で参加した小学6年の鈴木優海くん(11)、4年の菜々美さん(9)は、「これまで山に登っていた時とは違って、木の大切さがよく分かった。これからは植物にも水を欠かさずあげて、ちゃんと育てたい」と話した。

3月11日の津波で壊滅的な打撃を受けた若手県大船渡、陸前高田両市と隣り合う内陸の町、住田町。5月中旬、小学校や幼稚園跡で沿岸の被災者を受け入れる仮設住宅が造られていた。

広さは他の仮設住宅とはほぼ同じだが、地元から切り出した総スギ造り。「木造は冬場の結露なども少ないそうです」と、産業振興課の水野豊課長補佐はいう。

津波に家を流され、完成したての仮設住宅に入った陸前高田市の鈴木マサ子さん(63)は「木造の家に住んできたので、木の家はありがたい」と話した。

森林が町の面積の9割以上を占める住田町は、80年前から林業振興に力を入れてきた。間伐や植林で計画



的に管理しつつ、山の仕事で生活も成り立たせようと、第三セクターの産地直送型住宅会社を設立。2004年には環境に配慮した林業による木材だと証明する国際的な認証を得た。

幹の太さを測る小学生たち。これを基に二酸化炭素を
どれだけ蓄積しているかも推測できる＝山梨県道志村



間伐材が世界を救う

過去の多くの文明が減びた大きな原因は周辺の森林破壊だった。米国の生物地理学者、ジャレッド・ダイアモンド氏は著書「文明崩壊」で指摘した。

人類にとって貴重な資源であり、世界の陸地の約3割、約40億畧を占める森林だが、干ばつや山火事、農地化などで毎年1300万畧が消える。中国のように植林に力を入れる国もあるが、増えた面積を差し引いても520万畧ずつ地球上から森林が減っている。

乾燥で火事が相次ぐオーストラリア以外で減少が目立つのは、南米やアフリカ、東南アジアや南アジアの熱帯林。違法伐採の問題も指摘される。先進国に高く売れるからだ。

日本も木材輸入大国の一つ。2009年の木材自給率は数年前より10%ほど上がったとはいえ、27.8%。製紙用パルプも含め、国内で必要な木材の4分の3を海外に頼っている。

輸入が割安なためだが、その結果、林業に携わる人が減って手が入らない山がほとんど。間伐で使える木も放置されている。

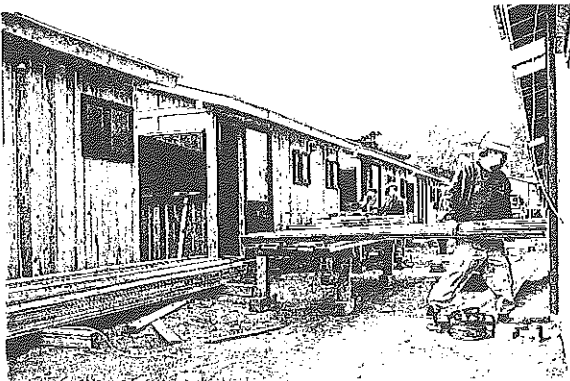
こうして世界的には森林が減る中、日本の森林資源は2007年には44億3千万立方畧と、1986年の28億6千万立方畧の1.5倍以上となっている。

使わなければ、面積は増えても森は不健全のまま。今年の国際森林年を機に、

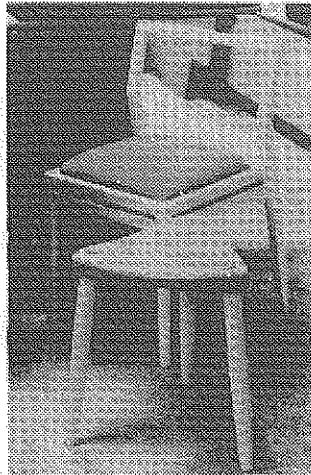
政府は間伐材の利用を促そうと、NPOとも協力したキャンペーンを進める。

林野庁海外林業協力室の大川幸樹課長補佐は「間伐材を使えば、その分だけ輸入材を減らせ、世界の森林を守ることになる」と力説する。安い輸入材を相手に山の仕事で生活を成り立たせるには課題も多い。燃料用など用途の拡大がカギを握っている。

地元スギで仮設住宅！



地元産のスギ材を使って建設が進む仮設住宅。5月19日、岩手県住田町




ZOO (永田健一)

(右)手前はタモ材のおにぎりスノール22,000円。奥のフナ材のチェア44,000円。基本的に予算、材質、デザイン、設計など応相談。2010年3月20日から[ZOO SECOND SPACE]なるショップをオープン。住所は大阪市東成区東小橋1-18-4(☎06-7492-7247)。

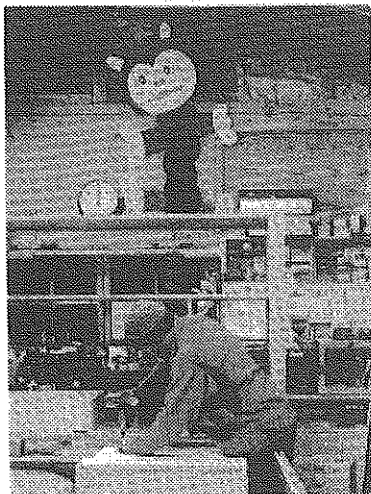
●店舗なし
☎072-883-0224
地方発送可
買える店：なし

履歴書 平成22年3月8日 現在

ふりがな	なが たけいち	
氏名	永田健一	
昭和29年生まれ(満56歳)		
ふりがな	かど まし	電話
現住所	門真市	072-883-0224

年月	職歴
昭和49年	シルクスクリーンの印刷所へ入社
昭和64年	知人の紹介で守口市の職業訓練校へ
平成6年	現在の保育園の敷地内に間借り出店
平成17年	クラフトフェスを始める。毎年11月開催
	以上

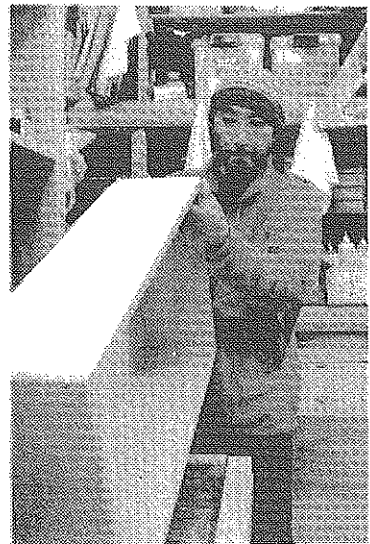
50代・家具職人



「子供が通った保育園の贈物を間借りします」という工房。頭上の看板はお遊び会用。カンナなどの工具は、兵庫県三木市から購入するが、細かい工具のカスタマイズは自分で、が基本。

好きなことで生きる、その覚悟が全ての動機。家具職人としては25年、決してキャリアは長くはない。けれども、永田さんの家具や人柄には、年数だけでない、ぬくもりや思いを感じる。なぜだろう。門真で生まれ育ち、勤めたのは大阪のシルクスクリーン印刷の会社。その後、友人たちと会社を立ち上げたが、一人抜け、二人抜け、と最後は一人になった。自宅で印刷を続けていたところ「知人から木工家具のこと、一から教えてくれるところがある」と聞いたんです。それは、守口市の職業訓練校のこと。聞いて「よっしゃ、それや」とまさかの瞬間即決。転身を決意した。1年間、学校で教わった技術をベースに、自分の世界を作り上げ、その後の25年間には、

お客様の声にどれだけ応えるか、という積み重ねが行われてきた。「悪く言うとスタイルはバラバラです。でも、求められる家具にできるだけ近い物を提供したいんです」という。もちろん、しつかりとベースのデザインは保つ。が、気付いた瞬間から、どんな新しいものを取り入れて変化



させてきた。工房を訪ねてくる若い人たちは、「この仕事で食べていく覚悟があるんやな」と念を押し、工房の手伝いをしてもらいながら、それぞれの制作を見守る。そんな若い職人さんたちが、この工房を経て、次々と独立していったそう。

「5年前からものづくりフェスやってますねん」「プロトタイプフェスティバル」(P58)というイベントには、その若手たちも、そこから広がった異業種の人たちも参加する。「やりたかったら、どんなんやったらエエねん。人生何でもバツバツといかん」と何も始まらへん。こうやって、新しいことにつながることもある「やるし」とは、好きなことを続けていく覚悟あってこそ、の発言なのだ。「若人よ腹をくくれ」ってことですよね。

▼ 京阪神エлмаガジン社 2010 ¥880.-

三かはん破つたれ 器具、
せんでん固てまほ、
をなすけつたれ

いま欲しいのは、
作り手の顔が
見えるもの。

関西の手仕事



880.00

www.zoo-furniture.com

zoo second space
〒537-0024 大阪市東成区東小橋1-18-4
TEL & FAX: 06-7492-7247
E-MAIL: info@zoo-furniture.com

工房
〒571-0073 門真市北巢本町37-11
TEL & FAX: 072-883-0224

「感謝」

会計より

井下 様子

<会費・カンパ等をいただいた方> (敬称略) (2011.3.21~2011.5.31)

伊東万千子 井上真 井下祥子 井下廣 上田廣子 鷺川まき 大西裕子 大東弘
大平浩子 笠原英俊 久世濃子 栗岡理子 高阪真帆 田村節子 恒成和子 中川勝弘
中島紘 なかつかゆきのり 麦島貴美子 湯川れい子 蓮原耕児 和田善行

被災者への義援金など、大変な時期に、皆様、本当にありがとうございます。

*領収書の必要な方は、お手数ですが、振込用紙にその旨ご記入ください。

<おたよりから>

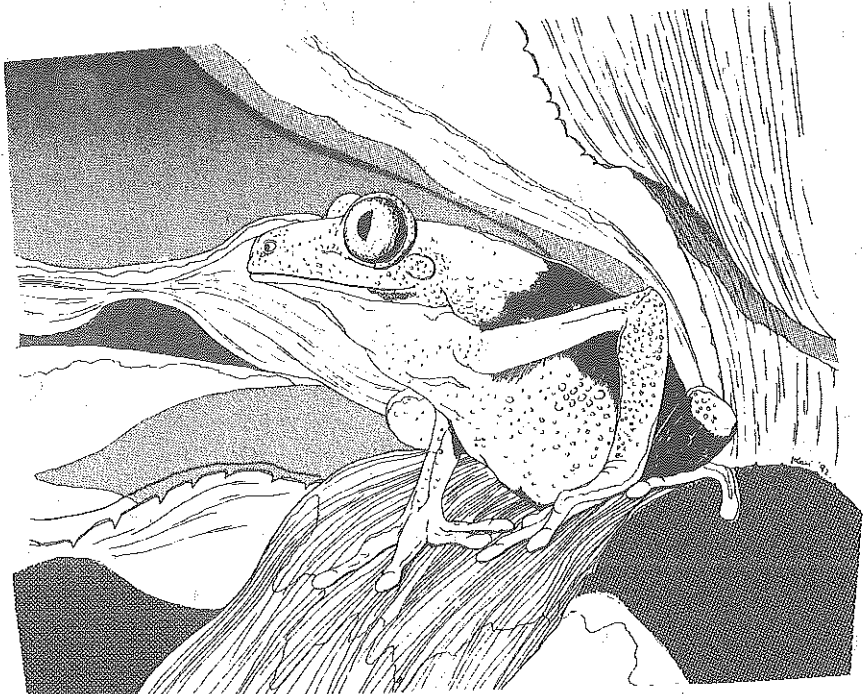
- *貴会の発展を祈ります。NPO が忙しく、なかなか活動に参加できず申し訳ない
- *2年分会費8,000円です。遅くなりました。
- *ツアーでマレーシアに行ってきました
- *活動に賛同して入会します。

<<ゆうちょ銀行に口座をお持ちの方へ>>

郵貯の ATM から「電信振替」で会費をご送金いただくと、振り込み料は無料です。

「受け入れ口座番号」00930-4 をまず打ち、次の画面で 3880 (さんはち..) と打ってください (振込み用紙の口座番号です) 詳しくは窓口で。

*ゆうちょの 口座をお持ちでない方、申しわけありません。



HUTAN ACTION SCHEDULE



スケジュール/お知らせ

* ウータンのホームページが新規更新、リニューアルしました。HP)<http://www.hutang.jimdo.com> です。

HUTAN Group

ウータン・

森と生活を考える会

HP)www.hutang.jimdo.com



(写真・全て違法材停止で野生オランウータンが TanjungPuting 国立公園へ戻る！/違法材停止から再植林へ)

- * ホーム・ウータンの活動/インドネシア、マレーシア等の写真、 * 世界の森林から、 * 守れ！熱帯林、
- * 違法材ラミン停止キャンペーン、 * STOP 違法材・違法材貿易、 * 自治体キャンペーン、 * 温暖化防止を
- * 日本の森林保全と有効活用を、 * 希望の苗作りプロジェクト、 * スタディ・ツアーしませんか、 * コラム
- * インドネシアNGOsの紹介、 * 森とともに守っていく仲間を募集しています、 * 催し、 * 連絡先・等です。

* 今迄違法伐採の取組みを進めていたからか、3回きたウイルスも最近来ていませんし、違法材も減った上、以前のホームページの内容が古いものになっていた為、内容を組み替え、新たにリニューアルしました。

* 【通信ウータン 100 号】発行や、本年が国際森林年でもあり、英語版なども今後追加してゆきます。

* ご意見がございましたら、お寄せください。 * fwpc3808@mb.infoweb.ne.jp (Forest Web / PC)

* TanjungPuting 公園等の「希望の苗作りプロジェクト」「森を守っていく仲間の募集」は issy@pure.ocn.ne.jp へ。



ウータン・森と生活を考える会

[OFFICE] 〒530-0015 大阪市北区中崎西1-6-36

サクラビル新館308

「関西市民連合」気付

Tel.06-6372-1561

HP)<http://www.hutang.jimdo.com>

〔一部〕300円 〔年会費〕4000円

〔郵便振替〕00930-4-3880



◎購読希望の方は郵便振替で申し込み下さるか、又事務所までご連絡下さい。

◎ウータン定例会は、毎月、第2、第4火曜日7:00pmより「関西市民連合」事務所にて行っております。